

弘前市民参画センター 印刷機使用方法

日ごろより、当センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

印刷機は、午前9時から、10時、11時・・・と1時間ごとの事前予約制となっております。3密を避けるためにも、事前にお電話でのご予約をお願いいたします。

印刷機は、皆様に気持ちよくご利用いただくため、ルールをご理解いただき、センター運営にご協力くださいますようお願いいたします。
(印刷物作成の際は著作権法等の法令を遵守の上ご利用ください。)

印刷機利用時間（1時間ごと）
午前9時から午後7時30分

予約受付時間
午前9時から午後7時30分

予約受付、問い合わせ
弘前市民参画センター
電話0172-31-2500



博物館マスコットキャラクター
「いのっち」

印刷料金

製版 1版70円

印刷 100枚まで10円（100枚ごとに10円を加算）

（製版・印刷ミスの場合、試し刷りも料金がかかりますのでご注意ください。）

用紙は持ち込みです。

使用料の納付は自動料金機による事前納付となっております。

硬貨は10円、50円、100円、500円が利用できます。

紙幣は1,000円札のみ利用できます。

（汚損したり、濡れている紙幣は機械が故障しますので使用しないでください。）

使用にあたっての注意

- ◇ 内容把握のため、申請書記入の際に 職員が印刷原稿を確認します。営利を目的とするものや個人の都合による目的などの利用は、できませんのでご了承ください。
- ◇ 製版・印刷の失敗、試し印刷についても料金が発生します。センターでは、料金を返金いたしませんのでご了承ください。
- ◇ 印刷できるのは普通紙のみとします。和紙、厚紙、薄紙など特殊な用紙や折れ曲がった紙などは、紙詰まり等故障の原因となりますので、使用しないでください。（封筒、ハガキは詰まりやすいので、職員にお声がけください）
- ◇ パソコンを接続しての印刷、またUSBメモリなどからの印刷はできません。
- ◇ 利用は、基本的にはセルフサービスです。紙詰まり、エラー等の対応、消耗品（インク・製版マスターなど）の交換は、職員が行います。使用方法の説明も致しますので、お気軽に受付へお声がけください。
- ◇ 機材、印刷資料、用紙など、利用者のお荷物の一時預かりは行いません。
- ◇ 不注意、故意による印刷機や料金機の故障は修繕費用を負担していただくことがございますのでご注意ください。
- ◇ 大型ホチキス、中綴じ用ホチキス、文房具等の貸出も行っていますので、職員にお声がけください。

こんな工夫で、うまくいくことも！

- ◇ 原稿は四方に1センチ以上の余白を開けると紙詰まりが起こりにくくなります。
- ◇ インクが乾燥するには6時間はかかります。両面印刷を行うには、片面を印刷してからできるだけ時間をおいて印刷すると重送の発生が少なくなります。
- ◇ 黒っぽい写真や絵柄が多い原稿はインクが乾燥しにくく、紙詰まりを起こしやすくなります。両面印刷をする場合は、時間をおき、そのような原稿を2面に印刷する方が紙詰まりが起こりにくくなります。
- ◇ 製版後最初の1枚は、インクが回り切らず、きれいに印刷されない場合がございますので、試し刷り用紙の準備や印刷枚数の設定などにご注意ください。
- ◇ 封筒は、厚みに差があるので紙詰まりが多く発生する場合があります。封筒は25枚位ずつ給紙台におき、印刷すると紙詰まりが起こりにくくなります。また、封筒はセンター貼り（とじ目が真ん中のもの）よりもサイド貼り（とじ目が脇にあるもの）の方が印刷トラブルの発生が少ないようです。
- ◇ 両面印刷の場合でも原稿は、片面で印刷したものを用意してください。両面印刷の原稿は、裏うつりして製版され、きれいな製版ができない可能性があります。



印刷機は特殊加工をした紙に細かな穴を開けてインクをしみ出させ、巻き付けて印刷する方式ですので、コピー機に比べて画質が荒くなります。また、用紙により印刷がうまくできないものもあります。重送という、用紙が2枚、3枚重ねて送られ、印刷されないものが混じる可能性もございます。印刷インクは乾燥するためには数時間かかります。両面印刷等の場合は、乾燥しない状態で印刷すると用紙の重送が発生する可能性が高くなります。

印刷機は、大量に印刷する場合には料金と時間がかかりませんが、精度と印刷枚数の不具合が発生することがありますので、少し多めに印刷するなど印刷枚数に余裕をお持ちいただいた方が安心です。

